

万国郵便連合(UPU)の概要

- 万国郵便連合(UPU)は、郵便業務の効果的運営によって諸国民の通信連絡を増進し、文化、社会及び経済の分野における国際協力に寄与することを目的として、1874年に設立(本部:ベルン(スイス))
- 近年、電子商取引を支える国際物流のルール形成機関としての役割への期待が高まっており、郵便事業者以外の者(宅配事業者、プラットフォーム等)によるUPUへの関与を強化するための「開放政策」が推進されている。
- 現在、192カ国・地域が加盟(日本は1877年に加盟)。
- 2022年1月、我が国の目時政彦氏が事務局長に就任(任期は4年間。1回のみ再選可、最大で2期8年)
- 1957年以降、継続して郵便業務理事会の理事国であり、管理理事会については3選禁止規定のため、21年~25年まではオブザーバ参加だが、基本的に継続して理事国を務めている。(目時事務局長は、2012年から2021年までPOC議長)。
- 日本は米国(60単位)に次ぐ世界第2位の分担金拠出国(55単位、約3億5千万円)(中国は第6位)。
- 郵便ネットワークを活用した災害対策や社会課題解決のプロジェクト支援のため、分担金とは別に拠出金として年間約3億円を拠出。

UPUは世界19箇所の地域国際郵便機関と連携

国際事務局(UPU本部)

- ・本部:ベルン
- ・職員:約250名(うち邦人職員11名)
- ・事務局長、次長が選挙職

万国郵便大会議【原則4年ごとに開催・全加盟国で構成】

UPUの最高意思決定機関

UPU条約等の改正、常設機関の理事国選挙、事務局長・次長選挙、次回大会議までの研究課題等に関する決議、決定、勧告等を行う



目時政彦UPU国際事務局長

管理理事会【常設(年2回開催)・41理事国】

(CA: Council of Administration)

大会議間のUPUの事業継続を確保する機関
規制、組織等に関する検討が任務

- ・第1~第4委員会
- ・タスクフォース等

郵便業務理事会【常設(年2回開催)・48理事国】

(POC: Postal Operations Council)

郵便業務、郵便金融業務等の技術・業務・経済等における諸問題を共同して研究

- ・第1~第4委員会
- ・タスクフォース等

活動に参加

諮問委員会

利用者・関連事業者も含めて構成